



「猛暑の夏に無理せず頑張る！！」

今年の暑さも厳しい夏でしたが、変わらず、いつもの作業を続けています。ラジオ体操で軽く体をほぐしてから、作業担当リーダーの指示に従って、大きく公園と桜並木の2班に分かれて活動を始めます。

公園は芝刈機で雑草を刈り取るものの、主体は花壇の雑草取りなので、人力が主体となります。これに対して桜並木は刈払機で雑草を刈払うため、機械力が主体となります。さらに、刈り払った雑草を道路から竹ぼうきやブロワーで、道路の両脇に移動させることや、設置したベンチの清掃も行っています。

刈払機はどうしても石をはじくので、作業の周囲で通行者の有無を確認していますが、通行者の皆さんも気をつけていただきたいと思います。



結構たくさんの用具や機器



藤棚刈込



花壇の雑草取り



雑草刈払い



設置したベンチの清掃

第38回 春日部大風マラソン支援

毎年、ランナーの応援をしてきましたが、今回はボランティアとして、初めて参加しました。この暑さの中を、“皆さんは走るんだ”と自分に気合を入れ、担当場所に向かいました。担当は5キロの折り返し地点で、ランナーの皆様が安全かつスムーズに、走行出来るように誘導する事でした。「左側に寄って時計回りに折り返してください」と声を掛け、安全な誘導に努め、また、「はい、はい、はい！頑張ってください！！」と、周りの迫力ある観客と一緒に、全力で声援を送り続けました。大会中には、5キロを完走された岩谷市長、気象予報士の平井さんと、言葉を交わす機会もありました。市長からはボランティアへの感謝の言葉を直接頂き、大会を支える一員としての誇りを改めて感じました。

笑顔で最後までランナーを誘導し応援した達成感は格別でした。また、市長やランナーの皆さんと心を通わせることができ、本当に素晴らしい経験となりました。



「第21回 みんなで花を植えよう」

— みんなと一緒に植えたよ！ —



晴天に恵まれて、6月13日（土）に、庄和道の駅さくら公園で開催されました。今回の参加は他のチームが野球の試合と重なった為に、春日部さくらチーム3名の女子とご家族・コーチの方が、会員の皆さんと一緒に、賑やかな花植えになりました。

サルビアと松葉ボタンを、自由に植えて下さいとお話すると、画一的ではない、若い感性の良い感じに植えられました。風作りは、「庄和大風文化保存会」の方に教えて頂きながら、それぞれが好きに絵を描きあげて風が完成!! すぐに、公園の中で歓声をあげながら走り回り、とても良く上がりました。風のキットを買って帰りたい、と話をしている子もいました。

さくら公園を散策の折には、3人の若い感性で植えられた花壇を探して見て下さい。



花植え



風作り

第6回 朝市の開催

第6回朝市を9月25日に清掃活動後に開催しました。参加者19名、会員間の親睦を深める目的で3人による他人紹介で今回のテーマは「発見」。内容は、趣味・出身地・節約等で楽しく話されていました。今回は野菜等提供者の声を聴きました。



植田会員：NPO 法人への活動参加は、毎年の野菜供出のみです。50坪の土地を借り野菜作っていますが、これが私の健康を支えてくれている一番のものです。健康を考えている方、トライしてみてもいいですか？

内山会員：コンポスト容器3ヶ使用し家庭の生ごみや野菜くずを入れておき微生物の力で分解、発酵させ堆肥（肥料）を作ります。家庭から出る燃えるゴミの量を減らし、環境にやさしい野菜づくりをしています。

栗岡会員：トウモロコシ、トマト等がカラスや害獣に食べられます。これらは、収穫時期に対応していますが、一番困るのがモグラです。西瓜や甜瓜の根の下に穴をあけ株を枯らせてしまいます。何か良いモグラ対策法ありませんか？

関口会員：鈴虫は、8月頃から雄が美しい鳴き声を出し、雌を誘います。10月頃に産卵、卵は3mm程の細長い形で土の浅い部分に数百個産み付けます。12月～3月は卵が休眠にはいり、気温が25℃位になると羽化が始まり、その後7～8回の脱皮を経て成虫になります。

渋谷会員：土いじりをしていると無心になり悩みごとが解消されます。周りの仲間も親切で明るい人ばかりでいいのですが、初夏に入ると雑草との闘いが始まり結局負けてしまいます。

今回は市川会員、川崎会員からも野菜・花の苗を提供していただきました。

周辺施設のご紹介 (株)道の駅庄和

道の駅庄和は、国道4号バイパス沿いにオープンし、今年で22年目を迎えます。庄和地区伝統である迫力満点の大風が展示された本館では、四季の新鮮野菜やお土産品を数多く販売しております。

中庄内桜並木・さくら公園からすぐにございますので、散策の際には是非お立ち寄りください。



大風とクレヨンしんちゃん



レストラン(食彩館)

会員の紹介

「かけがえのない癒しの場所」

会員 鈴木 次雄

私は、数年前に腰痛を患いリハビリと気分転換のため、3月下旬の早朝に庄和道の駅さくら公園に散歩に出かけました。私以外は誰もいない公園内の情景は、朝もやの空気は澄み渡り思わず深呼吸をしてしまいました。そして、小川沿いの桜は満開に咲き誇りほのかな香りが漂い、静寂の中で小鳥のさえずる声が聞こえてきました。また、周辺の田んぼには田植えのあとの早苗が青々と成長した姿を見ると新鮮な気持ちになり、騒々しい日常生活を忘れることができました。身近にこのような素晴らしい自然が残っていたことを忘れていた自分に気づかされました。それから私にとって庄和道の駅さくら公園は「かけがえのない癒しの場所」となりました。

庄和道の駅さくら公園は小さな公園ですが、市民の手造りの公園で居心地の良い空間です。この素晴らしい自然を次世代へ残すことと環境を守るためにボランティア活動をしたいと思い立ち、NPO 法人庄和ふる里を守る会に入会させていただきました。

ご支援を頂いている 団体賛助会員様

※受付登録順

庄和商工会

(株) 道の駅庄和

(株) 桐の樹環境

金崎区 (自治会)

(有) 庄和商事

関東いすゞ自動車(株) 春日部支店

庄和中央病院

埼玉みずほ農協 庄和中央支店

小笠原医院

上柳区 (自治会)

○ 個人会員 (9月1日 現在) 正会員 71 名 賛助会員 92名

「NPO法人庄和ふる里を守る会」からの報告

10周年記念の集いのご案内

当会は2005 年にボランティア活動として始まり、NPO 法人となってから10年を迎えました。これを記念して10/17 (土) 正風館3階講義室において、10:00~11:30の時間で「10周年記念の集い」を会員向けに開催いたします。併せて10周年記念誌を配布いたします。これまでの当会の歩みをご覧になっていただき、更なる発展に資する集いにしたいと考えております。是非、多くの方に参加いただきたくよろしくお願いいたします。



【編集／発行】

NPO法人庄和ふる里を守る会 「ふる里庄和」編集委員会
〒344-0121 春日部市上柳183
(TEL) 090-7903-3971